

海洋会・横浜支部9月講演会

日時:2015年9月8日(火)18:00～ 於:海洋会館3F会議室

演題: 千葉県での映画『天心』の上映に到る経過について

信じろ日本を、その先にある光を!!



日本の近代美術に大きな足跡を残した岡倉天心の生誕150年。没後100年。

本作品は、明治という時代にあつて日本の美を『再発見』し、新しい美を生み出そうと苦闘する天心とその弟子である若き画家たち――横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山――の葛藤と師弟愛の物語です。『天心』上映に漕ぎつけるまでをお話します。2011年3月11日 東日本大震災が起こり、その後、震災復興支援映画『天心』の完成記念試写会で感動した私は、千葉県では上映されていないことを知って、流山市と、流山市の文化団体に共催、後援等と呼びかけ、打診から約1年を経て流山市立博物館友の会主催映画『天心』の流山市上映に漕ぎつけました。上映前に、山本鉦太郎氏の、流山の醤油、酒の醸造、みりんの販売で繁盛した秋元洒汀が、岡倉天心と日本美術院の大観、春草、観山、木村武山らのパトロンの一になって、菱田春草の画を買い上げ、困窮している時期の生活費の面倒もみたと言う、講話がありました。洒汀が買い上げた春草の「落葉」「黒い猫」は、経営が思わしくなった晩年に手放したが、これらの絵は日本美術史上最高の傑作と言われ、国の重要文化財になっています。



講演者: TE14 辻野 吉勝(流山市立博物館友の会・前会長)